

2017 年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	法学部／研究科 政治学科／専攻 2年（留学年次） 3年（帰国年次）
	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 東国大学 社会科学 政治行政学部
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2017年 2月 28日 ～ 2018年 2月 28日 出国日 2017年 2月 24日 最終帰国日 2018年 2月 16日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計 1,500 字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学当初は語学の勉強に励むことばかりを考えていましたが、次第に人との交流面を大事にして行きました。語学の勉強は日本にいてもできますが、現地の人との交流は実際にその地に行かなければできないことです。もちろん、交流する上で言葉は必須ですがそれ以上に気持ちが大事だとも思いました。

今回の留学を通して身になったことは人とのつながりの大切さを学んだこと、積極的に挑戦すること、自分の意見をしっかり表示することです。やはり日本にいただけでは自分に甘えてしまうことが多かったのがこのように留学を通して、人として成長するためのヒントをたくさん得られてよかったと感じています。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

やはり語学面です。自分が思っている以上に母国語の人と会話するのは大変でした。

語学堂で学べるとはいえ、1 学期の授業では先生の言っていることが理解できず何度も悔しい思いをしました。日本にいたときから留学先の人と積極的に交流し、文法だけでなく実践的な語学力を身につけるためにもっと準備すればよかったと思いました。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

大学の雰囲気としてはそれほど大規模な大学ではないため、授業も少人数で先生もアットホームな印象でした。授業は生徒の意見を問う課題や、個人発表も多く自主性を求められる授業ばかりでした。しかし、先生のサポートも手厚くメールなどで直接やりとりし理解できなかった点や相談なども受けてくださったおかげで、ストレスをあまり感じることなく授業に参加できました。

一番印象的だったのは試験期間です。普段遊んでいた友人も試験期間になると、連絡も一切なくなり試験勉強に集中します。図書館も24時間空いており、寝袋を持ってこもっている学生を見た時は驚きました。そのような環境に刺激されてか、勉強を計画的にする習慣が身につきました。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

キャンパスの第一印象は高低差が激しい学校という印象でした。学校の敷地はそれほど広くはないのですが、坂が多く教室移動の時は一苦労でした。また、南山公園が学校の真横にあったため自然も多くソウルタワーも見えてソウルの中心部にも関わらず、綺麗な景色の中で1年過ごせました。

また仏教の学校ということもあり、学校内を歩くお坊さんを見たときはとても不思議な気持ちになりました。

建物は基本的に学科ごとに分かれています。最初は複雑で迷うことも多々ありましたが、生徒に聞けば優しく教えてくれました。食堂も3箇所ほどあるためバラエティーに富んだメニューが多く満足できました。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

韓国語初級レベルの授業は語学堂と別に開講されていました。これは正規授業と同じ扱いのため授業料はありませんでしたが、教材費は別にかかっていました。

授業数は、私が受講してなかったため分かりません。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

生活面でのサポートは最初の頃はバディーが留学開始にあたって必要な手続きを手伝ってくれました。その後は国際センターの方に質問などしてサポートしていただきました。

留学生向けのイベントではないのですが、活動として「ハラム」というサークル団体がありました。最初の頃はなかなか韓国の友達ができない身としては本当に良い場だったと思います。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

大学周辺はとても治安が良かったです。繁華街の近くということもありましたが、夜でも人通りが多く危険なことはありませんでした。

しかし、外国なので深夜に一人で出歩くことはしないように意識していました。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

立地もよく、最寄りの駅も便利な線だったためどこに行くのも行きやすかったです。

また、文化祭が春と秋にあるのですが日本のように一日中やるのではなく夜からが本番の印象がありとても面白かったです。また、有名アイドルなども来てくれるのでお祭りのようでとても印象的でした。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 (最初は大学寮でしたが途中からコシウオン)

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 大学寮 1457400 ウォン / 4ヶ月、(日本円) 約 145740 円 / 4ヶ月
コシウオン 400000 ウォン / 月、(日本円) 約 40000 円 / 月

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 (コシウオンでは白米、キムチ、ラーメンは無料)

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ()、計 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

学校の寮

とても綺麗で快適でしたがルームメイトによってはトラブルがあった部屋もありました。また門限が決まっているため少し不自由した点もありましたが、安全面は高かったです。キッチンがなかったため外食やコンビニ食が多かったです。

コシウォン

一人部屋なのですがとても狭く慣れるまでは少し不便でしたが、キッチンもあり自炊するには良かったです。部屋ごとにシャワーの有無はありますが、トイレは共同でした。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 、(日本円) 約 円

(2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 ()、(日本円) 約 32000 円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 800000 ウォン、(日本円) 約 80000 円

※ 宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード / 現金 / その他 ()

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

レートがいいときに帰ることができたので良かったのですが、生身の現金を持っていると盗まれないか、無くさないか不安でした。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

5. 保険について

(1) 保険会社名

t@biho

(2) 保険料

約 110000 円 (11ヶ月)

(3) 加入した保険の種類、内容

海外留学保険

(4) 感想、良かった点・悪かった点

一度体調を崩し病院にかかったのですが、提携病院も多く日本語対応もしている病院だったので安心して診断できました。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物 / 船便 / SAL 便 / 航空便 / 海外宅配便 / その他 ()

(2) 持って行って良かったと思う物

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

洋服は現地でもたくさん可愛いデザインがあるため必要ではなかったです。

(4) 持って行けば良かったと思う物

日本のお菓子。現地で初めて知り合った子と仲良くなる手段としてお菓子をあげるととても感動されたので初めから持って行けば良かったです。

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

基本的に授業があったため、授業後は復習や少し早い授業の後は友達とご飯を食べたりしていました。近場で用事を済ますことが多かったです。

(2) 週末

学校外の友人と会うことが多く少し遠出もして遊んでいました。私は元々、韓国の歌手が好きだったため番組観覧に行ったり、コンサートに行ったりと活発に過ごしていました。時々、カフェ巡りをしてゆっくりとした週末を過ごすこともありましたが、基本的には家にはいなかったです。

8. 後輩へのアドバイス等

留学当初はどうすればいいか不安ですが、焦らずに自分のペースを保っていれば必ず慣れてきますので焦りは禁物です。ある程度慣れて来てから自分の目標やしたかったことに挑戦すればとても充実した1年を過ごせると思います。

勉強することも大事ですが、現地でしか体験できないこと、感じることでできない気持ちを感じられれば留学に来た甲斐があると思います。明確な理由が無しに留学に来てしまっても、異国の地で生活すれば何かしら目標は必ず生まれると思っています。

自分を見つめ直すことのできる時間もたくさんありますし、変えることのできる機会もたくさんあるので何事も怖じけずに挑戦して見てください。後悔しないことが一番大事です。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。